



〒520-0041  
滋賀県大津市浜町1-3 8  
滋賀銀行従業員組合  
TEL 077-521-2775  
FAX 077-525-5232  
Mail info@sbu-ffs.com  
URL http://sbu-ffs.com/

## 労使懇話会

### 「新型コロナウイルス等対策特別措置法」 中小企業の経営破綻・失業者の増加・賃金の低下 などに対する国の対応は不十分(組合)

滋賀銀行従業員組合は7月27日午後3時30分から5時に労使懇話会を行いました。

出席者は銀行から西専務、久保田専務、西藤常務と執行役員・福田人事部長と居藤調査役。組合からは、中島委員長、八軒副委員長、澤井書記長、小原執行委員、谷・山崎特別執行委員が出席しました。

懇談の議題は、「当行の現状と取組」で、組合は「新型コロナウイルス禍と新自由主義、他」です。なお、本号には組合側の発言の一部を紹介し、詳細は組合ニュースに掲載します。

### コロナウイルス禍で 日本経済や社会の 脆弱性明らかに

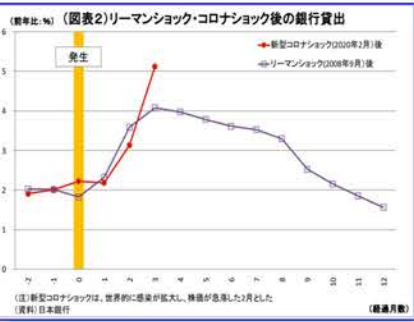
ここ数年の自然災害に加え昨年末からの新型コロナウイルス感染拡大を受けて、日本経済や社会の脆弱性が明らかになっている。

日本銀行が公表した「貸出・預金動向速報(20年6月)」によると、貸出の銀行全体の伸び率は6.5%と前月の5.1%から大幅に拡大している。ニッセイ基礎研究所は、7月10日付の貸出・マネタリー統計(20年6月)では



「データが開示されている92年7月以降の最高を連月で更新」しており、貸出残高も「前年差は30・4兆円増と、5月の23・7兆円増から6・7兆円増加」しているとのことである。

貸出が加速した理由についても、「新型コロナウイルス拡大に伴う経済活動の縮小によって企業の資金繰りが逼迫し、資金を確保する動きが急速に広がったため」としている。さらに「今回の伸び率拡大ペースはリーマンショック後を大幅に上回っている」と、新型コロナウイルス



「リーマンショック・コロナショック後の銀行貸出」の発生を示している。このグラフは、世界的に感染が拡大し、株価が急落した2月とした(資料:日本銀行)。

	申込	実行
プロパー	748件 1,938億円	437件 1,029億円
保証協会	3,296件 737億円	1,319件 311億円
(うち実質無利子・無担保融資)	1,897件 372億円	305件 61億円
合計	4,044件 2,675億円	1,756件 1,341億円

### 県内企業の売上高 7割の企業で 前年を下回る

滋賀県内でも「しがぎん経済文化センター」が6月の「滋賀県内企業動向調査」で新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響について調査を実施されている。その結果も、6割強で企業活動にマイナスの影響が出ており、3〜4月の売上高は7割の企業で前年を下回る、など同じような結果と考える。

### 中小企業や個人事業 者への積極的 支援が不可欠

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、内部留保を十分に持たない中小企業や個人事業者などは廃業の危機に陥っている。

### 休業要請の補償は 国が責任を持って 補償を行うべき

中小企業の経営破綻、失業者の増加・賃金の低下、などに対する国の対応をどう評価されるか。組合としては不十分という評価である。例えば、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」では、休業要請に応じた事業者への休業補償がないが、国が責任を持って補償を行うべきである。

### パンデミックの中 9万人が労組加入

新型コロナウイルス感染症拡大のパンデミックのなかで、イギリス公務部門労組UNISON(イギリス最大の労働組合・組合員130万人)は、6月22日に組合員加入呼びかけのキャンペーンをスタートさせました。同労組はホームページで、「金融・労働研究ネットワークHPより」

### 「異常事態」申し出 に「すべて対応する 姿勢」が必要

リーマンショックに伴う金融円滑化法での

滋賀県自治体問題研究所創立35周年記念講演

「里山資本主義」真庭の挑戦  
太田昇 岡山県真庭市長



にも優しいものです。

市政の方向

市政の目標は、地域を真に豊かにすることです。豊かさの議論はいろいろされており、その中身にはいろいろありますが、行政は、市民の幸せづくりと地域の魅力、地域価値の増進を応援する条件整備会社であると考えています。主役はあくまで市民であり、市民の活動を行政が応援することを通じて地域の魅力、地域価値の向上を図っていくことめざしていきます。市の第2次総合計画もそうした観点で策定しており、一言でいえば「真庭ライフスタイル」の確立であり、東京にはなく、真庭にあるもので豊かな地域生活を実現していくことをめざしていきます。

経済政策の方向

大きな里山資本主義と小さな里山資本主義

大きな里山資本主義というのは、豊かな森林資源を活かし、バイオマス発電を核とした地域全体での資源循環・活用であり、小さな里山資本主義というのは、各地域の特色ある資源を活かした取り組みです。これを相互に連携しながら前進していくことをめざしています。

木を使い切る

原木仕入れ量年間20万m<sup>3</sup>に対して出荷量は12万m<sup>3</sup>で4割の廃材がですが、材として使えないものはバイオマス発電の燃料になります。とくに今までも全く使えなかった樹皮も燃料にすることで木材一本丸々使えてお金になります。

逆転の発想

私は、高齢化についてはそれほど心配していません。いかに健康長寿の社会をつくるかであるといえます。だからこそ、全労連の出番です。全国の全ての都道府県に根を張る地方労連と全国の単産とが力を合わせて、私たちの要求に確信をもち、運動を進めてまいります。と述べました。

7月4日、滋賀自治体問題研究所創立35周年記念講演が行われ、滋賀銀行従業員組合の中島委員長が参加しました。

講演では、岡山県真庭市の太田市長から『里山資本主義』真庭の挑戦』について話をされました。中島委員長は「逆転の発想を実際に行われているのはすごいことだと思う。」



真庭市の紹介

「真庭市は合併して15年になります。前の市長さんが2期、私が2期目の4年目という状況です。後でお話しますが、真庭市の特徴的な施設で市内でエネルギー供給をしているバイオマス発電施設は、私が就任する1年前ちょうど前に完成しています。市役所の本庁舎は、バ



イオマス発電と太陽光発電とバイオマスボイラーにより100%再生可能エネルギーを使用しており、一年中快適に過ごすことができ、買電と比べて年間600万円程度安くついて

おり経済的です。ボイラーの燃料は木質チップとペレットです。ペレットはカロリーが高いが、製造手間がかかっているので単価は高く、通常チップを燃やして補助的にペレットを使う、だからボイラーが二つついていきます。このバイオマス発電は、燃料が木材なので環境

さん（全教）が選出されました。

小畑雅子  
新議長を選出

小畑氏は就任の挨拶で「財界や政府は、今まで進めてきた新自由主義政策に固執し、コロナ危機をある意味利用して、自分たちに都合のいい政策を押し進めようとしていきます。まさにせめぎ合いの時代



「各地域の特色を生かした地域づくり」を目指しておられます。（しがの住民と自治）を参考にさせていただきます

30年の歴史を踏まえ  
新たな運動切りひらこう

7月29日・30日全労連第30回定期大会

全労連第30回定期大会が開催され中島委員長（全労連・幹事）はZOOMで参加しました。この定期大会は「全労連の30年の歴史を踏まえ、新たな運動を切りひらく」重要な大会となりました。

大会の提案、発言

定期大会（30日）で新議長に小畑雅子